

1. 基本情報

評価対象年度 ( 令和2 年度)

施策コード	124	施策名	郷土文化の保全・継承
将来像	1	安全でうるおいのある暮らしができるまち(「暮らし」の分野)	
まちづくりの基本目標	12	生きがいを持って文化的に生活できるまち	
主担当部	企画部	主担当課	郷土博物館

2. 施策の方向

10年後の姿	清瀬の歴史への理解が深まり、誇りと愛着が生まれています。また、次世代に清瀬の歴史と文化が継承されています。		
施策の方向性	1	市民が郷土文化にふれ、清瀬への愛着と誇りを高める環境を整備します	
	2	市の歴史や文化を次世代に継承します	
	3	学校教育での郷土博物館の資料や人材の活用を推進します	

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和2年度決算額
市史編さん事業	2	市史編さん室	12,669
博物館事業	1、2、3	郷土博物館	2,944
文化財保全事業	1、2、3	郷土博物館	2,059
旧森田家運営管理事業	1、2、3	郷土博物館	1,477
総事業費(施策の合計)			19,149

4. まちづくり指標

指標情報				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和5年度	令和7年度	
①	名称	郷土博物館入館者数		目標値	52,000	53,500	50,000	54,000	55,000
	説明	郷土博物館年間入館者合計数	単位 人	実績値	43,261	24,084(※2)			
	抽出方法	所管課統計		達成率	83.2%	45.0%			
②	名称	市の歴史や伝統文化、文化財等に関心があると思う人の割合		目標値	—	53.0	53.0	54.0	55.0
	説明	—	単位 %	実績値	51.8(※1)	45.0			
	抽出方法	市政世論調査(平成29、令和2、5、8年度実施)		達成率	—	84.9%			
③	名称	この一年で市内の伝統行事を見に行ったり参加したりしたことがある人の割合		目標値	—	32.0	33.0	33.0	35.0
	説明	—	単位 %	実績値	31.0(※1)	22.5(※2)			
	抽出方法	市政世論調査(平成29、令和2、5、8年度実施)		達成率	—	70.3%			

※1 平成29年度実績値

※2 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による減と推測される

5. 評価(令和2年度実績に対する)

評価基準		評価※	評価理由
投入財源・成果 (「3. 構成事業 の状況」「4. ま ちづくり指標」 に対する評価)	総合評価 (成果、投入財源 等を総合的に評 価)	維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>●郷土博物館においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、一部の事業は中止せざるを得なかったが、特別展事業については、無事に開催することができた。</li> <li>●学芸員が企画した特別展「絵本原画に見る横内襄展」、「下宿内山遺跡展～江戸・明治時代の清瀬を掘る～」には多くの方が来場された。その他、市制施行50周年を記念した特別展『リマスターアート®でみる「オルセー美術館印象派の名画展』では、オルセー美術館公認の原寸復元画を多数展示した。同美術館が誇るルノワール、モネ、ゴッホ、ミレー、ドガなどの印象派の巨匠たちの傑作を間近で鑑賞できる貴重な機会であったことから多くの市民が来場し、芸術や文化に触れていただけた。</li> <li>●歴史事業や伝承事業、ミュージアムシアターなどの博物館事業を開催し、好評を博した。</li> <li>●博物館実習は学生6名を受け入れ、学芸員による10日間の指導の下、展示「清瀬のいまむかし展」を実習生が自ら企画し、展示を行った。</li> <li>●市史編さん事業においては、『清瀬市史4 資料編 近世』の刊行を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、都の公文書館や博物館などの施設が休館や入館制限を実施したことから、執筆に必要な調査が困難となった。このことから、清瀬市史刊行計画の変更を市史編さん委員会に諮問し、資料編近世の刊行を令和3年度に延期した。</li> <li>●10月1日の市制施行50周年を記念した事業として、『清瀬 あゆみの景色 市制施行50周年記念誌』を刊行するとともに、市役所、けやきホール、健康センター及びペDESTリアンデッキにおいて、懐かしい写真パネルを展示した。</li> </ul>

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している  
維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある  
停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和2年度からの 変更点	郷土博物館及び市史編さん事業においても、新型コロナウイルス感染拡大の影響は大きく、事業の一部中止や延期をした。
-----------------	---

7. 施策を進める上での課題

①	<p>施策を進める上での課題 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、市民が博物館へ来館しなくても、市の歴史や文化に触れ、知識欲求を満たすことができる方法を検討する。</p> <p>課題に対する令和4年度以降の取組 著作権が許す範囲ではあるが、講座や展示などの動画配信、SNSを活用した情報発信を積極的に行う。</p>
②	<p>施策を進める上での課題 市の歴史や伝統文化について市民の関心を高めるとともに、学校教育での資料活用を推進する。</p> <p>課題に対する令和4年度以降の取組 博物館収蔵品及び市史編さん過程等で収集した資料の整理・保存・公開を進めるとともに、市史や調査報告書の刊行を通じ、市民の歴史や文化への関心を高めていく。また、学校教育における資料活用を視野に入れ、貸出用キットの整備を行う。</p>
③	<p>施策を進める上での課題 市内の文化財(有形・無形・埋蔵)や結核療養に係る関連資料及び歴史的遺産について、適切に保護・保全・活用を図る。</p> <p>課題に対する令和4年度以降の取組 国の重要有形民俗文化財「清瀬のうちおり」を展示スペースを設けて公開するとともに、清瀬市の近現代史の重要なテーマの一つである「結核療養の歴史」に関する資料や歴史的遺産の保全を図る。また、清瀬市の歴史や文化について、SNSや動画配信などを利用して国内外へ向け広く情報を発信する。</p>
④	<p>施策を進める上での課題 旧森田家は茅葺屋根の痛みが激しく、市指定文化財として保全していくためには、屋根の葺き替えが喫緊の課題となっている。</p> <p>課題に対する令和4年度以降の取組 屋根の改修工事を見込むとともに、施設の効果的な活用方法を検討する。</p>